

社会の基盤を担う 責任の重さを感じて

○ コスモ石油株式会社
原油外航部 原油グループ **山田 貴大** (現 米国コスモ石油株式会社)

● 年間1億バレル規模の契約交渉

2009年に入社して原油外航部外航グループに3年、そして現在の原油グループで1年になります。外航グループでは購入した原油を製油所へ運ぶ外航船のマネジメントに携わり、その経験を活かして原油グループでは原油の調達業務を行っています。原油のなかでも特にコンデンセートという、天然ガス由来の原油の一種の調達を任されています。

具体的には産油国との契約交渉業務で、条件面の交渉や月次の調整などが主な仕事です。契約には1年間のターム契約と月々のスポット契約があり、ターム契約は1日あたり約30万バレル、年間では1億バレル規模になります。

● 常に代替案を持ってトラブルに対処

ターム契約の場合、毎年1月が契約更新期ですので、その2、3カ月前から交渉に入ります。さらに毎月の積み込みについては、その2カ月前から積み込む原油の種類と量、船の選別、日時など、詳細なプランを立てて産油国に提出します。

スポット契約の場合は、その都度必要な原油の量や調達先について、2カ月前に会議を行い、決定します。スポット契約は全体の3割程度に当たり、2カ月前のニーズを読むことと、どれだけ良い条件で調達できるかがポイントです。業務を進めるなかでは、大小さまざまな問題がつかまえます。ですから常に別の代替案を用意し、原油の安定的な調達に努めています。

「バレル」とは？

体積(容積)を表す単位で、マーケットでの取引以外にも、油田の規模や生産できる原油の量、製油所の生産能力や精製できる石油製品の量などもバレルで表されます。用途や国によっていくつかの定義がありますが、石油用バレルは、「1バレル=42米液量ガロン=約159ℓ」です。右のタンカーでは、約200万バレルの原油を運ぶことができ、これは千葉製油所の約9日分の処理量にあたります。



◀ タンカー
MAERSK HAKATA

右端
商談会議の様子 ▶
(コスモ石油 本社会議室)

コスモ石油グループは、原油の安定調達に向けて、早くから中東産油国との信頼・協力関係を築くための活動に力を注いできました。原油外航部の原油グループでは、石油製品の原料となる原油をできるだけ安く、安定的に調達する役割を担い、安くて性状に問題がないことを前提に、南米や極東アジアからも広く調達を行っています。



より広い視野から石油の世界を見たい

この仕事は扱う金額の大きさもさることながら、社会生活の基盤を担っているという責任の重さがあります。調達やプランに問題があれば、場合によっては日本経済、日本の生産活動そのものに影響を与えかねません。

私は国益にかかわる仕事がしたいと思い、この会社に入社しました。原油の世界は奥が深く、例えば投機資金によって原油価格が上下するため、原油価格、産油国の生産動向だけでなく、ヘッジに関する知識も必要になります。石油は「インフラのなかのインフラ」と呼ばれていますが、この世界をもっと深く知り、さらに広い視野を身につけることで、お客様の信頼に応え、より満足していただけるようになりたいです。



原油グループの仕事と使命

業務内容の大分類

原油輸入計画方針および
輸入計画の立案・実施
(国家備蓄原油調達を含む)

損害保険

官公庁等へのデータ、
実績報告および
社外報告書の作成・提出

企業行動指針

第1章 1. (1) エネルギーの安定供給
第6章 3. (1) 誠実な取引

第1章 1. (1) エネルギーの安定供給

第5章 2. (2) 適切な情報開示
第6章 3. (5) 政治・行政等との
透明性の高い
関係の構築
4. (1) 情報の正しい取り扱い



表敬訪問 上/極東経済研究所 下/極東連邦大学

常に丁寧な交渉で安定供給を実現

原油グループの仕事は、産油国やトレーダー、商社などからの原油の調達と余剰分の売却です。購入から船積み、海上輸送にかかわる、保険などのさまざまな手続きやコントロールを行います。

石油は産業の基礎ですから、私たちの最大の使命は原油の安定供給です。そのために一番重要なのは、実はコミュニケーション能力なんです。主な契約先である中東でも、それぞれのお国柄、文化は異なります。私は3年間のアブ

ダビ駐在経験でそういったことを

学びました。その国の人や文化

を良く理解して、できるだけ

丁寧に、正直にお付き合い

いすることが何よりも

大事で、その上で、

常に安価で安定

的な原油の調

達をめざすこと

が、私たちの使

命であると考え

ています。



コスモ石油株式会社
原油外航部 原油グループ グループ長

酒谷 英太郎 ○